6月定例会

子どもの福祉医療制度を拡充

小学生の通院医療費を全額助成！

今定例会の24年度一般会計補正予算に医療給付費4764万円が計上されました。これは、**子育て支援の更なる強化策として、小学生の通院医療費を全額助成するものです。**県が約1600万円、市が約3100万円を負担して実施します。

●開始予定日
8月1日

※お問い合わせは
市民生活部国保年金課
（☎0182-35-2186）まで。

24年度国民健康保険税

税率を据え置きも、一人当たりの年税額は増加

6月定例会初日の「所信説明」で五十嵐忠悦市長は国民健康保険について触れ、23年度の決算状況は繰越金が6億円となる見込み、財政調整基金に3700万円を積み立て、残高が5000万円になることを明らかにしました。

今年度の事業運営については、「財政健全化計画」に基づき法定外繰り入れを行い、**繰越金から2億円を基金に積み立て財政基盤強化を図る方針です。**国保税は税率を据え置きますが、課税所得が昨年度より増加しているため、一人当たりの年税額は増加となりました（表参照）。

国民健康保険税　一人当たり課税額
〈医療給付分＋後期高齢者支援金合計〉

H23	H24
73,458円	78,243円

24年度一般会計補正予算案を可決
500億800万円に

最終日、6月27日の本会議にて、今年度一般会計補正予算案6億6千万円を全員賛成で可決しました。累計は500億800万円となりました。主な事業は次の通りです。

●再生可能エネルギー導入事業【7580万円】
公共施設に太陽光発電装置、蓄電池などを設置

●福祉医療給付費【4764万円】
福祉医療対象者を小学校児童の外来分に拡大

●保全センター共通管理費【1億1千万円】
南部環境保全センターの焼却炉、破袋機等の修繕

●産地収益力向上推進事業【1462万円】
秋田ふるさと選果場への糖度センサー導入事業

●環境放射能測定費【611万円】
農産物等の食品に係る放射能分析装置購入

▲再生可能エネルギーを導入する大雄庁舎

▲南部環境保全センター

※4月23日に臨時議会が開催され、23年度一般会計補正予算案（第12号・13号）の専決処分を承認。強風被害の復旧費等、1億2千万円の24年度一般会計補正予算案（第1号）を全員賛成で可決しています。

※5月30日にも臨時議会が開催され、鶴ヶ池荘の湯量減少に伴う工事費等、4522万円の24年度一般会計補正予算案（第2号）を出席者全員賛成で可決しています。なお、鶴ヶ池荘は工事後、湯量が回復し、ほぼ通常営業の態勢がとれました。